

事務事業チェックシート

事務事業No 557 事業名 防災学習センター運営管理事業

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	1	予防体制の充実
基本方針	2	防火防災意識の高揚と自主防火活動の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H17	～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	予防課	亀井 利昭 (427-0119)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		消防費
	項		消防費
	目		消防費
	大事業		消防事業
事項	防災学習センター運営管理事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	防災学習センターに来館する市民に対して体験学習等を通じて防火・防災啓発を図るため。	防災学習センターの運営に関する事業は、同センターに来館する市民に対して体験学習を通じて、防火防災の啓発を図る案内業務と展示機器の保守及び維持業務に区分され、案内業務は民間委託しており、個人から地域へと防災対応能力の向上を図るために、各コーナーで「見て 聞いて 体験して 学習しよう!」をテーマに、とっさの時の対応力を身に付けていただきます。展示機器の保守及び維持管理業務は、職員が展示機器の保守点検や故障、修理時の業者との契約などを行っています。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		防災学習センターによる体験学習 地震体験車体験運用 防火・防災等出前講座 イベント開催	防災学習センターによる体験学習 地震体験車体験運用 防火・防災等出前講座 イベント開催	防災学習センターによる体験学習 地震体験車体験運用 防火・防災等出前講座 イベント開催	防災学習センターによる体験学習 地震体験車体験運用 防火・防災等出前講座 イベント開催	防災学習センターによる体験学習 地震体験車体験運用 防火・防災等出前講座 イベント開催

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	16,411	18,552	16,985	16,617	19,226		19,226		19,226		
	伸び率 (%)	-	-	3.5%		13.2%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,058	1,159	1,222	1,206	1,507		1,507		1,507	
		非常勤職員	0		0	0						
		小計	1,058	1,159	1,222	1,206	1,507		1,507		1,507	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源(税等)	16,411	18,552	16,985	16,617	19,226		19,226		19,226		
所要人数	常勤職員	0.14	0.15	0.16	0.16	0.20		0.2		0.2		
	非常勤職員											
主な予算内訳	防災学習センター運営委託料 17190千円、機械修繕費 300千円、賠償責任保険料 55千円、管理委託料 216千円、業務委託料 1264千円、業務用器具費 201千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	防災学習センター利用者の促進(単年度の入館者数)				年度目標値	13,000	13,000	15,000	15,000	15,000
					実績値	11,898	11,812			
	単位	人	全体目標値	15,000	全体目標達成度	78.7%	年度別達成度	91.5%	90.9%	
	地震体験車利用人数				年度目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
					実績値	12,421	10,988			
成果指標	防災学習センター入館者数(平成17年4月オープン後からの累計)				年度目標値	112,000	125,000	140,000	155,000	170,000
					実績値	111,366	123,178			
	単位	人	全体目標値	170,000	全体目標達成度	72.5%	年度別達成度	99.4%	98.5%	
					年度目標値					
					実績値					
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	外部委託が軌道に乗り、東日本大震災後、来館者から津波に関する質問が増えたことから、市民の関心の高さが伺えるが、平成17年に開館して以来内容変更していないため、平成27年度からセンターの一部変更する。
「見直し」 「改善」案	平成27年度において、体験学習センターの一部を改修し、着衣着火、着衣泳、とっさの応急手当等の新たなコーナーを確保する。 東日本大震災で大きな被害を出した津波に対する怖さや避難の心得等を身体で体感できる映像の導入を検討しなければならない。